



那須町音訳ボランティア サークル泉

No.12

今月の人

地域のために活動する人や
団体を紹介します

音訳ボランティア「サークル泉」は、視覚に障がいがある方に町の情報を正確に伝えるため、「広報那須」や「議会だより」、「社協だより」を音訳してCDに収録し、毎月1回、図書館を通して利用者に郵送しています。

活動状況は
結成は昭和59年。図書館の読み聞かせ講座を受講したメンバーが受講後に結成しました。現在メンバーは10人。音訳するページを割り振りし、専用のパソコンソフトを使ってメンバーが自宅で録音します。その後データを持ち寄り一つにまとめ、CDに収録します。

現在、このCDを利用して利用者は9人です。利用者からのリクエストに応じて、小説なども音訳して巻末に収録しています。この活動はメンバーの音訳向上にもつながっていると感じます。

活動で困っていることは
メンバーは、寄付で頂いたパソコンを録音専用として使っていますが、パソコンが老朽化しているのが悩みです。

町民の皆さんへ
視覚に障害があり、情報が得にくい方がいたら、こういうものがあると広めてください。音訳版の町広報紙が必要な方は、町図書館にご相談ください。

問合せ 図書館 ☎72-5840

短歌

◎今月号の遊行柳の投句は該当作品がありませんでした

仰ぎ見る那須の名峰茶臼岳

若き日に観た絶景を想う

那須好きが昂じて定住二十年

老いの身いやす四季の巡りよ

秋山 幹夫

田中恵美子

俳句 (2021.12月号)

・那須文芸

秋深し雨に楽しむ読書かな
移いし働く母に秋深し

深沢 千郷
益子美都里

玻璃越しの夕陽束の間秋深し

渡辺 愛子

一日を見つめなおして秋深し

杉浦 公子

赤まんま白壁土蔵の窓の下

伊藤 栄子

幼子の花かんざしは赤まんま

五月女加代子

赤まんま母の遺した苺機

松本 和子

ままごとの子らに欠かせぬ赤まんま

須藤さよ子

秋深し雲なき空に飛行雲

大場 芦山

木枯や帰りの遅き夫按ず

丹野 セツ

木枯のなすがままなり薄き髪

高久 巻江

木枯やソーラン唄う漁師たち

井上 博子

木枯に足踏ん張っている仔牛

中島 君江

風や浪の上行く良寛さん

杉本 美風

鎌を振る老いに木枯容赦なく

中込とし郎

小人数の半畝で足るだいい畑

池田 裕子

独り居の大根多く作り過ぎ

高畑 和子

只今と猫の出迎え冬の入り

藤井康太郎

山里や夕日照りたる吊し柿

田部井清子

あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・意見をお待ちしています。名前と連絡先とともに、郵便、ファクシミリ、電子メールで下記までお寄せください。

■送付先 総務課広報広聴係
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
Fax 72-1133 ☒koho@town.nasu.lg.jp

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 12月14日(火)
■俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044
■短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901